

II 事業概要

1. 学術振興事業

(1) セミナー「現代科学・技術の最前線」

昭和57年より、賛助員の皆様に最新の知識と情報を提供すべく、例年、広い分野の中から関心の高いテーマを選んで標記セミナーを開催。

コロナ禍により休止していたが、3年振りにハイブリッドにて開催。本年度は、「健康」に注目し、下記のとおり実施した。

回	開催日	演 題	講 師	会 場
128	R5.3.16	『工学が創る健康』 開 会 挨拶 講 演 1 「住む人を健康にする建築システム 工学」 講 演 2 「機械工学による細胞のエンジニア リング」 閉 会	一般財団法人慶応工学会運営委員長 小茂鳥 潤 〃 常任理事 西山 繁 慶應義塾大学工学部システムデザイン工学科 専任講師 小川 愛実 東京女子医科大学 先端生命医科研究所 日本学術振興会特別研究員 今城 哉裕	慶應義塾大学 日吉キャンパス 来往舎2階 大会議室

〔追記〕 セミナー参加者（ウェビナー含む）：53名

(2) 国内学会出張費援助

令和4年度国内学会出張費援助として、14件に409,106円支給。

(3) 図書購入費援助

令和4年度慶應義塾大学工学部メディアセンター図書購入費として、150,000円の援助を行った。

(4) 研究会合費援助

令和4年度研究会合費援助として、1件に50,000円支給。

2. 国際交流事業

(1) 国外学会出張費援助

令和4年度 国際学会における研究成果発表のための国際学会出張渡航費援助の中で、コロナ禍においても国際学会が徐々に対面でも開催されるようになり、今年度については5件(渡航費援助4件、オンライン学会参加登録費援助1件)に405,757円支給。

(2) 国際交流推進援助費

令和4年度は、応募がなかった。

3. 育英奨学事業

(1) 慶応工学会賞

令和4年度慶應義塾大学卒業式に際し、理工学部成績優秀者7名に賞状および記念品を授与。

なお、卒業式の後、昨年度はオンライン形式により開催した慶応工学会賞授与式を、今年度は対面形式により挙行了した。

(2) 給費奨学金

令和4年度給費奨学金を慶應義塾大学大学院理工学研究科、政策・メディア研究科、薬学研究科前期博士課程の学生9名に3,130,000円支給。支給金額の一部に理工学部同窓会東海支部様からのご厚志をいただき、例年より採用人数を1名増やした。

(3) 育英奨学金

令和4年度育英奨学金を慶應義塾大学大学院理工学研究科後期博士課程の学生3名に2,100,000円支給。

4. 研究推進事業

(1) 令和4年度の委託研究契約は、27件で、70,606,527円であった。

(契約額の増額および期間延長を含む)

(2) 令和4年度の共同研究契約は、7件で、23,688,750円であった。

(契約額の増額および期間延長を含む)

(3) 令和4年度使用研究者指定研究資金としては、10件で、10,250,000円であった。

5. 学術普及事業

第54回経済性工学セミナーの開催に関わる事務を受託した。

開催日：令和4年11月25日（金）～令和4年11月26日（土）

会場：慶應義塾大学日吉キャンパス協生館2階多目的教室1

講師：中村善太郎 慶應義塾大学名誉教授

河野 宏和 慶應義塾大学大学院経営管理研究科教授

篠田 心治 成蹊大学理工学部教授

稲田 周平 慶應義塾大学理工学部准教授

参加者：17名

6. その他

「企業セミナー」について

今年度も、賛助員企業各社と慶應義塾大学理工学部との橋渡しを目的として、慶應義塾大学理工学部学生課キャリア支援オフィスとの連携のもと、「理工系先輩との座談会（慶応工学会）」を以下のとおり実施した。

開催は、新型コロナウイルス感染症のリスク回避のため、オンラインで行った。

<1日目> 令和4年12月7日（水） 13:00-16:20

■参加企業

A レーン：佐藤製薬株式会社、株式会社東芝、富士通株式会社、株式会社三井住友銀行、
三菱鉛筆株式会社

B レーン：日本電気株式会社、株式会社KTグループ、大日本印刷株式会社、大和証券株式会社、
株式会社安川電機

参加学生：A レーン…14名、B レーン…16名

<2日目> 令和4年12月14日（水） 13:00-16:20

■参加企業

ENEOS株式会社、株式会社関電工、株式会社日立製作所、三菱電機株式会社、
横河電機株式会社

参加学生：12名